

目次

第1章 計画策定の趣旨	1
1 計画策定の目的	
2 計画の性格	
3 計画の期間	
第2章 本県産業を取り巻く社会経済情勢等の現状と課題	5
1 これまでの取組と成果の検証を踏まえて	5
(1) 序論～データから見る本県の状況～	
(2) 東日本大震災及び原子力災害からの復興	
(3) 地域資源（ヒト・モノ）の磨き上げ	
(4) 観光・交流を取り巻く状況	
(5) 本県産業を取り巻く環境変化	
2 新型コロナウイルス感染症がもたらした新たな潮流を踏まえて	24
(1) 産業分野におけるイノベーションの加速化	
(2) 新しい生活様式と若年層の意識変化	
(3) レジリエンスに対する意識の高まり	
(4) ペントアップ需要の取込み	
第3章 本県産業の目指す将来の姿	28
1 基本目標と基本姿勢	28
2 目指す将来の姿と実現に向けた基本的方向	30
【将来の姿1】東日本大震災及び原子力災害からの創造的復興を遂げている	
【将来の姿2】中小企業・小規模企業の持続的な発展が進んでいる	
【将来の姿3】日本をけん引する新しい未来の産業が生まれている	
【将来の姿4】誰もが輝ける多様な働き方への理解が深まっている	
【将来の姿5】本県の観光と県産品が多くの方に選ばれている	
第4章 重点施策の展開	39
柱Ⅰ 東日本大震災及び原子力災害からの復興・創生、自然災害等への対応	45
1 東日本大震災及び原子力災害からの復興・創生	45
(1) 事業再開・継続支援	
(2) 工場等の新增設・創業の促進	
(3) イノベ構想の推進	
(4) 商業機能の回復、まちづくり支援	
(5) 観光振興・交流拡大による風評の払拭	
(6) 農商工連携による6次化の推進	
2 自然災害、感染症等への対応	57
(1) 多様なリスクへの対応	
(2) BCP（事業継続計画）策定の促進	
(3) 災害等発生への対応	

	(4) 福島空港の防災・減災機能の強化	
柱Ⅱ	地域に根ざした産業の振興	59
	1 中小企業・小規模企業の経営基盤の強化	59
	(1) 商工団体等と連携した経営基盤の強化支援	
	(2) 中小企業の経営課題解決・成長に向けた支援	
	(3) 事業承継の支援	
	(4) 県制度資金等による支援	
	2 商業・サービス業などの振興	63
	(1) 商業まちづくりの推進	
	(2) サービス産業の振興	
	3 技術力・開発力の強化	67
	(1) 産学官ネットワークの強化	
	(2) 革新的技術開発への支援	
	4 知的財産戦略の推進	71
	(1) 知的財産の戦略的な取得・活用	
	(2) 支援体制の強化	
	5 起業・創業の促進	73
	(1) 多様な起業等の促進	
	(2) 大学発ベンチャーの促進	
	6 国際経済交流の推進	77
	(1) 地域経済の国際化の推進	
柱Ⅲ	成長産業・技術革新の振興	78
	1 再生可能エネルギー・水素・環境・リサイクル関連産業の育成・集積	78
	(1) 再生可能エネルギー関連産業の育成	
	(2) 再生可能エネルギー関連産業の集積	
	(3) 水素関連産業の育成	
	(4) 水素関連産業の集積	
	(5) 環境・リサイクル関連産業の育成・集積	
	2 医療関連産業の育成・集積	85
	(1) 医療関連産業の育成	
	(2) 医療関連産業の集積	
	3 ロボット関連産業の育成・集積	89
	(1) ロボット関連産業の育成	
	(2) ロボット関連産業の集積	
	4 航空宇宙関連産業の育成・集積	93
	(1) 航空宇宙関連産業の育成	
	(2) 航空宇宙関連産業の集積	
	5 廃炉関連産業の育成・集積	95
	(1) 廃炉関連産業の育成	
	(2) 廃炉関連産業の集積	
	6 ICT関連産業の育成・集積	98
	(1) ICT関連産業の育成	

	(2) ICT関連産業の集積	
7	輸送用機械関連産業の育成・集積	99
	(1) 輸送用機械関連産業の育成	
	(2) 輸送用機械関連産業の集積	
8	戦略的な企業誘致の推進と立地企業の振興	101
	(1) 戦略的な企業誘致と工業団地の整備促進	
	(2) 立地企業の振興に向けた支援の充実・強化	
柱IV	人材の育成・確保の促進	103
1	産業人材の育成	103
	(1) 技能・技術の高度化	
	(2) 関係機関との連携による産業人材の育成支援	
	(3) 技能の継承	
	(4) 技能が尊重される環境の整備	
2	多様な人材の確保	107
	(1) 若年者の還流・定着に向けた就労支援	
	(2) 求職者等への就労支援	
	(3) 人材確保に向けた企業支援	
3	働き方改革の促進	112
	(1) 仕事と生活の調和のとれた職場環境の促進	
	(2) 職業生活における女性活躍の推進	
	(3) 労使関係の安定促進・労働者の福祉向上	
柱V	多様な交流の促進・県産品の魅力発信	118
1	国内観光の推進	118
	(1) 国内誘客の促進	
	(2) 教育旅行の推進	
	(3) 地域観光の中核を担う組織・人材の育成	
2	国際観光の推進	122
	(1) 海外からの誘客の促進	
	(2) 外国人目線による旅行商品の創出	
3	観光地の魅力の増進	124
	(1) 多様な観光客に対応した観光地づくり	
	(2) ホスピタリティ向上・人材育成の推進	
4	県産品の振興と輸出拡大	125
	(1) 国内における販売促進	
	(2) 海外における販売促進	
	(3) 伝統工芸・地場産業の振興	
5	福島空港の利活用促進	129
	(1) 定期路線の維持と空港利用者数の拡大	
	(2) 空港の利便性向上	
	(3) 空港の特色づくり	

第5章 地域の姿	133
1 県北地域	135
2 県中地域	138
3 県南地域	141
4 会津地域	145
5 南会津地域	150
6 相双地域	153
7 いわき地域	156
第6章 計画の推進のために	160
1 計画推進に当たっての考え方	160
(1) 産業界（企業・商工団体等）に期待する役割	
(2) 研究・教育機関に期待する役割	
(3) 行政の役割	
2 計画の進行管理	162
3 重点プロジェクトの展開	162
4 SDGs視点の重点施策の展開	162